

キャリア形成プログラム

(産科・婦人科学教室)

取得を目指す専門医資格

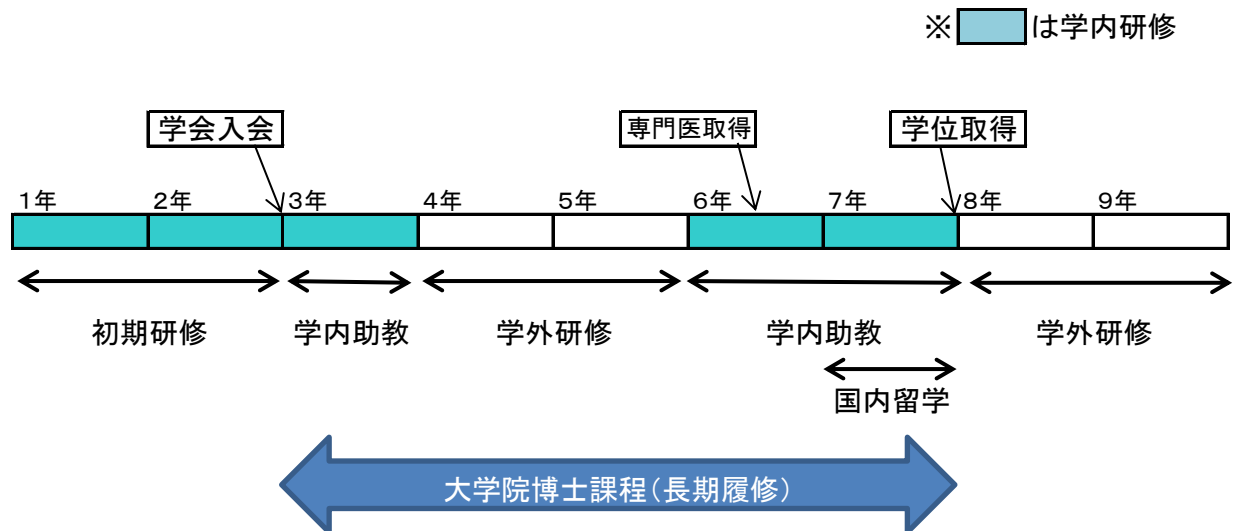
産婦人科専門医

【コースの概要】

全体像

産婦人科専門医取得には、初期研修修了後3年以上の産婦人科専攻医としての臨床研修と経験（分娩数100例、帝王切開執刀10例、子宮全摘執刀5例など）、さらには学会発表および筆頭著者としての論文が必要である。本プログラムを選択された先生には、最短で産婦人科専門医が取得できるよう下記のモデルコースを計画している。初期研修修了後3年間は大学ならびに症例の多い地域中核病院で連携を密にしながら、上記の資格要件を満たす臨床経験を確実に積めるよう配慮し、卒後6年目の年度中には専門医が取得できるよう指導する。専門医取得後は、サブスペシャリティとして、周産期・腫瘍・生殖の3分野それぞれの専門医（指導医）取得のため、どれか1つを選択してもらい、分野別の修練医としての研修をスタートさせ、大学／地域中核病院で密に連携して指導し、本プログラム修了後の卒後9～10年目前後には、専門分野の指導医になれるように教育する。本プログラムにおいては、もう1つの柱として若いうちから臨床のみでなく研究にも携わり、リサーチマインドを養い、将来大学や地域中核病院で指導者として活躍できる人材を育成する。希望があればいつの時期からでも大学院入学を受け入れ、責任をもって研究や論文作成を指導し、また学位も7～8年目には取得させる。さらに希望者には専門医取得後、7年目前後に国内の癌センター／周産期センターや国立の研究施設への国内留学（場合により海外留学）をすることも可能である。前述のサブスペシャリティ分野の指導医取得後は、大学で教員としてさらに臨床・研究を発展させ、教室の中心となって活躍したり、地域中核病院の医長（部長）として貢献していくことが可能である。

・9年間の研修予定(モデルコース)



指導体制

・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
○	和歌山ろうさい病院	産婦人科	4	4	2
○	橋本市民病院	産婦人科	3	2	1
○	国保日高総合病院	産婦人科	3	3	1
○	公立那賀病院	産婦人科	3	2	1
○	紀南病院	産婦人科	3	3	1

・専門医について

学 会 名	日本産科婦人科学会
資 格 要 件	医師免許 臨床研修含む5年以上の臨床経験 分娩症例100例(うち帝王切開の執刀10例以上含む) 手術症例50例 子宮内容除去術10例 学会会員歴3年以上 1編以上論文雑誌掲載筆頭著者として、発表 教育研修講演を受講、30単位取得